

便座離座センサー

かわさきJプロジェクト

KAWASAKI
project

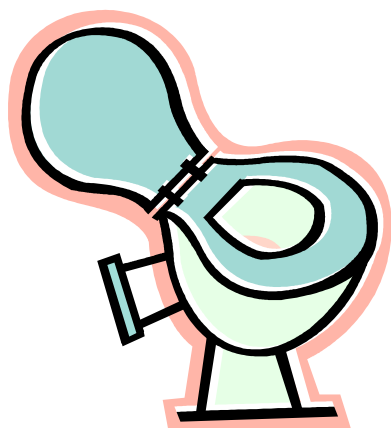
吉田 尚子

きっかけ 老人保健施設の職員の方の要望

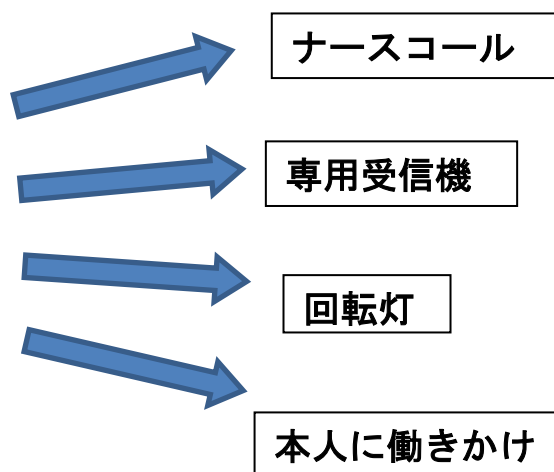
目的 トイレで、立位や歩行が不安定で転倒の危険のある方が、人を呼ばずにお一人で立ち上がり転倒してしまうことを防ぐ。

対象 認知症などで、コールを押せない方

用途 便座からの立ち上がりを検知して知らせる



便座に取り付けたセンサー(感圧、赤外線など)が立ち上がりを検知



二 ーズ調査 介護老人保健施設・特別養護老人ホームの介護職、リハビリテーション職(16施設、25名)

- センサー全般の使用の有無
使っている 21 使っていない 4
- センサーを使用している場所
ベッド 21 椅子 8 その他 3 トイレ 1
- 便座離座センサーを使いたいと思うか
思う 10 思わない 10 どちらとも言えない 5
- 離座センサーが立ち上がりを検知して知らせるタイミング
立ってから知らせるのでは遅い 11
立ってから知らせるのでも役立つ 8
離座センサーは不要 3 その他 1

- 立ち上がり予測機能があるとしたら？
あるとよい 14 離座センサーは不要 5
いらぬい 3 その他3
- 便座離座センサーを使用する場合、気になる点
価格 15
誤作動(鳴るべき時に鳴らない/鳴らなくてよい時に鳴る) 13
衛生(抗菌、清掃) 11 維持の手間(故障、電池切れなど) 7
設置場所 6 大きさ 5 維持費 4 スイッチの入れ忘れ 4
工事 3 その他 3 離座センサーは不要 1

主な意見（先の調査プラス他の高齢者施設、病院、一般市民）

+	-	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような効果があるのか興味はある。 ・新しく入所した人、ショートステイの人などの状態を知るのに便利。 ・リハビリテーション病院では需要が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーはできるだけ使いたくない。 ・センサーに振り回されてしまう(感知精度が重要)。 ・セットする手間がめんどろ、忘れる。 ・ベッドセンサー、フットセンサーは使っているが、トイレは短時間なので最後まで付き添っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことがなかった。 ・トイレで転倒が多いことは確か。 ・使うとしても、対象者は絞られる。 ・一般家庭でも役立つのではないか。 ・トイレに人が入っていることを知らせられるとよい。

関連企業の取り組み

〈センサーメーカー〉

便座離座センサー(感圧式)は製品あり

〈トイレメーカー〉

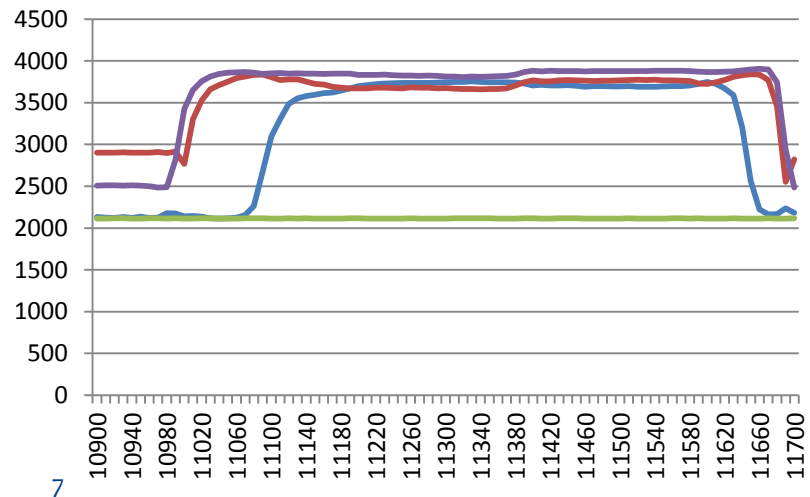
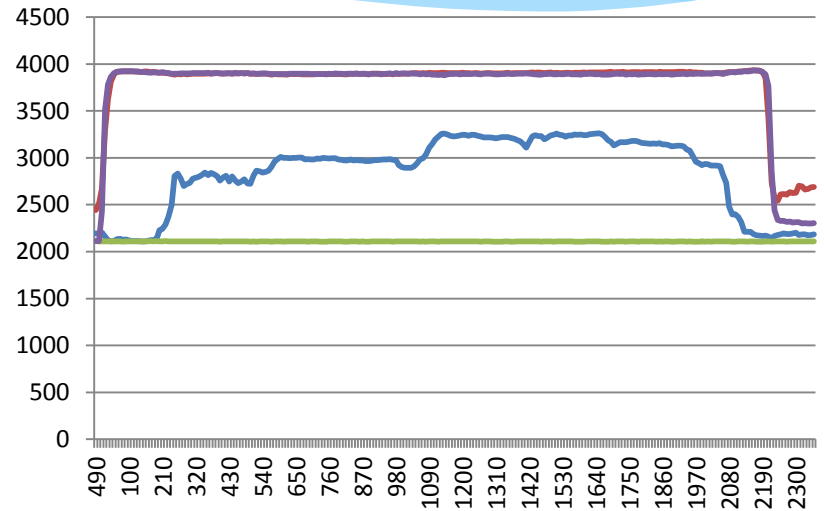
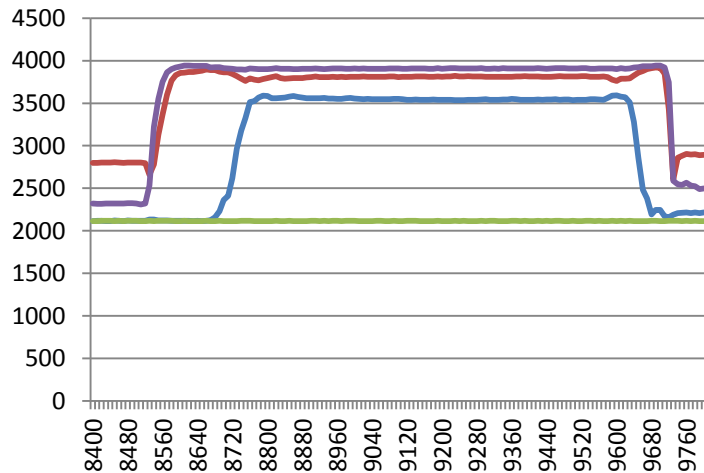
〈ナースコールメーカー〉

ニーズ調査、企業の取り組みで見えてきたこと

- 優先順位が高い訳ではないが、興味はある。
- 良いものであれば使う余地はある？
- 立ち上がりを早く、正確に感知できれば意義がある？
- 手間の煩雑さを省く工夫が必要。(例: ナースコールと連動)

試作 X 便座の着座の圧を計測する機器を作成。

作成 有限会社 Kinder Heim 萩原哲夫氏
(KBIC 技術コーディネータ)



今後

試作Xでどのようなデータが取れて何が読み取れるかを検証。



正確に感知する方法を追究

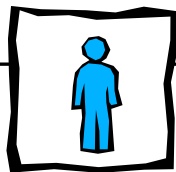


感知した後のアクションを検討

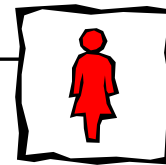


トイレ“入ってます”ツールも検討

ご協力・ご清聴ありがとうございました



パートナー募集



モニターをしてくださる福祉現場の方、
開発に協力してくださる企業の方、研究者の方
募集中！

ご興味のある方はご連絡ください。

かわさきJプロジェクト 担当：吉田

TEL044-201-6820

E-MAIL yoshidanaoko@kis-plus.jp